

令和元年度 EMIS 訓練について

1 目的

昨年度末に都内全病院に EMIS の ID が付与されたことに伴い、新たに加わった対象医療機関についても複数の担当者が操作できる環境を整える。

2 訓練期間

令和元年 8 月 30 日（金）から 9 月 5 日（木）まで

3 実施手順

- (1) 事前に報告様式の作成
- (2) 期間中の EMIS 入力
- (3) 報告様式（9/5㈬）と報告書（9/27㈬）の FAX 送信

4 被害想定

「本日、午前 9 時 00 分頃、関東地方で強い揺れを感じました。気象庁発表による地震の規模はマグニチュード 8.2、震度は都内では最大震度 7（品川区、大田区、町田市の一部）、練馬区内でも震度 6 強から 6 弱を観測しています。東京都では災害対策本部を設置して情報収集を行っており、首都圏の広い範囲において、建物の倒壊や火災、道路での多重衝突事故、鉄道の転覆事故などにより、多数の死傷者が発生しています。現在、警察・消防・自衛隊が救出救助活動を展開していますが、災害拠点病院には、これから多くの傷病者が殺到することが予想されます。」

5 対象医療機関

医療機関名			医療機関名		
1	順天堂練馬病院		12	関町病院	新
2	練馬光が丘病院		13	東京聖徳病院	新
3	練馬総合病院		14	慈雲堂病院	新
4	浩生会スズキ病院		15	陽和病院	新
5	大泉生協病院		16	練馬駅リハビリテーション病院	新
6	川満外科		17	ねりま健育会病院	新
7	田中脳神経外科病院		18	大泉病院	新
8	久保田産婦人科病院		19	東海病院	新
9	島村記念病院	新	20	桜台病院	新
10	保谷医院	新	21	高松病院	新
11	東大泉病院	新			

6 訓練結果

- (1) 入力状況 20 医療機関 / 21 医療機関 が入力
※入力未確認医療機関については、報告書と様式の提出はあった。
- (2) 提出状況 ① 報告書 16 医療機関 / 21 医療機関 が提出
 ② 様式 13 医療機関 / 21 医療機関 が提出
- (3) 主な意見
- 大規模災害時に、落ち着いて入力できるか不安だが、操作に慣れるよう訓練していきたい。
 - 入力に関して手間取ることがあったので、定期的に操作方法を確認したい。
 - 初めて訓練参加させていただき、事前準備の時は担当の地域医療課のスタッフが、不安な点、準備しておかなくてはいけない点等々ご指導いただき、当日は入力作業も何とか進めることができた。しかし、当日、訓練時に不明な点があり、電話にて問い合わせたところ、訓練内容が分かる担当者が他の仕事にて外出しており、誰一人訓練内容が理解できている内勤者がいなくて、入力作業が遅れてしまった。訓練当日は、せめて理解できる担当者に内勤でいていただきたい。
 - 定期的に訓練をすることが大切だと感じた。
 - 東京都福祉保健局の EMIS 訓練と重複している日があったので、分かりづらかった。
 - フォントの大きさをもう少し大きくした方が見やすいと思う。
 - ライフライン・サプライ状況の入力項目がわかりにくい。
 - 産科病院のため、基本的に受入不可。
 - 様式①と②を統一し、入力できるようにすると操作しやすいのではないかと。

6 その他

東京都においても、同時期に訓練を実施した。

(1) 訓練期間

- ①令和元年9月6日（金）午前11時00分から午後5時00分まで
- ②令和元年9月7日（土）午前7時00分から午後7時00分まで

(2) 実施手順

- 【9月6日】 訓練期間中に「緊急時入力」と「詳細入力」を完了させる。
※分娩施設を有する医療機関については、事前に参加報告を行う。
- 【9月7日】 （政府主催の大規模地震時医療活動訓練に参加する医療機関が対象）
訓練実施中、EMISに入力が必要となる事項が生じた場合、入力する。